

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2004-160996 (P2004-160996A)

【公開日】平成 16 年 6 月 10 日 (2004.6.10)

【年通号数】公開・登録公報 2004-022

【出願番号】特願 2003-364566 (P2003-364566)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 E

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多価金属塩を含む反応液を付与した後に、顔料インクを付与して記録を行う記録方法であって、

前記記録媒体の上面に付与された反応液に対し、当該反応液の表面張力よりも低い表面張力を有する前記顔料インクを付与させる工程と、

前記反応液と前記顔料インクとが接触した界面にて、凝集物が集合してなる膜状の凝集体を形成させる工程と、

を有することを特徴とする記録方法。

【請求項 2】

顔料インクと、当該顔料インクよりも高い表面張力を有し且つ当該顔料インクを凝集させる多価金属塩を含む反応液とを用いて記録媒体に記録を行う記録方法であって、

前記反応液を前記記録媒体に付与する工程と、

前記記録媒体の上面にて液状で存在している反応液に前記顔料インクを接触させるよう、

前記顔料インクを前記記録媒体に付与する工程と、

を有することを特徴とする記録方法。

【請求項 3】

多価金属塩及び界面活性剤を含む反応液を記録媒体に付与してから、当該反応液の界面活性剤の含有率よりも高い含有率で界面活性剤を含む顔料インクを付与することで前記記録媒体に記録を行う記録方法であって、

前記記録媒体の上面にて存在している反応液の界面に前記顔料インクを接触させる工程と、

前記反応液と前記顔料インクとが接触した界面にて、凝集物が集合してなる膜状の凝集体を形成させる工程と、

を有することを特徴とする記録方法。

【請求項 4】

予め記録媒体に反応液を付与してから顔料インクを付与して記録を行う記録方法であって、
前記記録媒体の上面で前記反応液と前記顔料インクを接触させる工程と、
前記反応液と前記顔料インクが接触した界面で、凝集物が集合してなる膜状の凝集体を形成させる工程と、
前記記録媒体に対する前記反応液の浸透性を促進させる工程と、
を有することを特徴とする記録方法。

【請求項 5】

多価金属塩を含む反応液を付与してから、当該反応液の表面張力よりも低い表面張力を有する顔料インクを付与することにより記録媒体に画像を形成する記録方法であって、
前記記録媒体の上面で前記反応液と前記顔料インクを接触させる工程と、
前記反応液と前記顔料インクが接触した界面で、凝集物が集合してなる膜状の凝集体を形成させる工程とを有し、
前記インク及び前記反応液の溶媒成分を浸透させることにより、前記記録媒体を構成する複数の繊維間に跨って当該複数の繊維を被覆する凝集膜を有する画像を形成することを特徴とする記録方法。

【請求項 6】

多数の繊維で構成される記録媒体に画像が形成された記録物であって、
前記画像は、複数の繊維間に跨って当該複数の繊維を被覆する顔料の凝集膜を含むことを特徴とする記録物。

【請求項 7】

多数の繊維で構成される記録媒体に、顔料の凝集膜が形成された記録物であって、
前記凝集膜は、複数の繊維間に跨って当該複数の繊維を被覆するものであることを特徴とする記録物。

【請求項 8】

多数の繊維を含む記録媒体に、顔料の凝集膜が形成されてなる記録物であって、
前記凝集膜は、複数の繊維の凹凸部分に跨って当該凹凸部分を被覆するものであることを特徴とする記録物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

3. 予め記録媒体に反応液を付与してから顔料インクを付与して記録を行う記録方法であって、
前記記録媒体の上面で前記反応液と前記顔料インクを接触させる工程と、
前記反応液と前記顔料インクが接触した界面で、凝集物が集合してなる膜状の凝集体を形成させる工程と、
前記記録媒体に対する前記反応液の浸透性を促進させる工程と、
を有することを特徴とする記録方法。